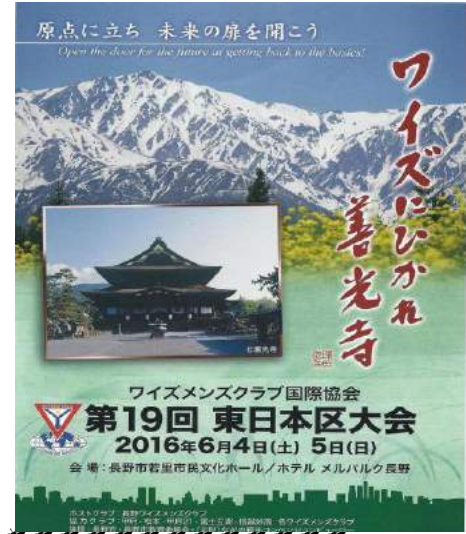




とつか

2016年2月会報 第256号

- 国際会長(IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)
- 2015 主 題 “Mission with Faith” 「信念のあるミッション」
- スローガン “Count Your Blessing” 「恵みを数えよう」
- アジア地域会長(AP) Edward K. W. Ong (シンガポール)
- ～ 主 題 “Through Love, Serve” 「愛をもって奉仕をしよう」
- スローガン “Let it Begin with Me” 「まず自分から始めよう」
- 2016 東日本区理事 渡辺 隆(甲府) 「原点に立って、未来へステップ」
- 湘南・沖縄部部长 今城 高之(横浜つづき)「一人ひとりが愛と平和の種をまこう！」
- クラブ会長 吉原 訓 「ゆっくり・楽しく 社会に奉仕」
- 主 題 副会長 浦出 昭吉 書記 若木 一美 会計 小俣 妙子
- メネット事業 吉原 和子 担当主事 長田 光玄



~~~~~

会長ひと言 吉原 訓

～ワイズの心を社会に広め続けよう～



長野県軽井沢のバス転落事故は やり場のない悲しみと怒りをもたらしました。人生で最も楽しい時に、何も間違った行動をしていないのに何という惨事でしょう。

民放のテレビ局では 亡くなった大学生の親御さんにマイクを向けて「今の心境は？」などと聞いています。そのようなテレビ局の存在を憂いますが、本当に恐ろしいのは 知らず知らずのうちに そうしたテレビ局の行動を許している多くの国民がいるということです。

30年ほど前にも 長野県内でスキーバスが 運転手のスピードの出し過ぎが原因でダム湖に転落し 25 人が死亡するという大惨事が起きています。

飛行機のパイロットは、確かな技術を要求されることは無論のこと、厳しいアルコール・チェックや、日常生活の管理、家庭内の不安材料の有無までチェックがあると親戚の大手航空会社の元パイロットから聞いたことがあります。

50 人超の人命を預かるバス事業者は、車両と運転者の安全対策を早急に行わなければなりません。

私たちには 改めて ワイズの心を社会に広め続ける役割があることを 今更ながら痛感します。

◎今月の聖句◎

わたしは、こう祈ります。知る力と見抜く力を身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように。

—フィリピの信徒への手紙1章9、10節から—  
人の進むべき道を見誤らないようにと、主は諭されています。それは、人間だれもが備えているはずの“知る力”、つまり‘知力’-knowledge-と、“見抜く力”、つまり‘判断力’-insight-を身につけることにより、「思いやり」が豊かになり、「本当に重要なこと」が見分けられるようになりますよ、と諭されています。

さて、あなたの進むべき道は…、今からでも 決して遅くはないはずです…。

強調月間 TOF

TOF、つまり Time of Fast の略称、日本語では「断食の時」を意味します。先ごろ来 言われている難民などの飢餓に苦しむ人々を支援するため、区では2月の月を「TOFの月」とし、例会の食事を抜くなどして、その分の金額を献金し国際に拠金する奉仕活動の一つです。世界のそれぞれの地域にあつて、民生向上のため苦闘している YMCA が、世界 YMCA 同盟を通じて給付申請をし、担当するワイズの国際機関 (TOFESC) で審議のうえ、国際議会で支援先や給付額を決める。これと似ている活動がCS事業、訳して、地域社会・隣人奉仕活動をいい、そのための資金を CS 資金と称し、東日本区独自の資金にしている。TOF は@1,300 円以上、CS の方は@1,250 円以上が今期の要請額となっています。

| 1 月在籍者数 | 1 月出席者数 | 出席率 | ファン | B   | F   | B   | F   | CS・TOF・Y | E   | S | ロ | バ     |
|---------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------|-----|---|---|-------|
| メ       | メ       | 83% | 他   | (円) | (g) | (円) | (円) | (円)      | (円) |   |   | (円)   |
| ン 12    | ン 8     |     | 前月迄 |     | 0   |     | 0   | 0        |     | 0 |   | 8,950 |
| メネット 1  | メネット 3  |     | 当 月 |     | 0   |     | 0   | 0        |     | 0 |   | 0     |
|         | ゲストら    |     | 累 計 |     | 0   |     | 0   | 0        |     | 0 |   | 8,950 |
| 計 13    | 合 計 11  |     |     |     |     |     |     |          |     |   |   |       |

★強い義務感を持つとう 義務はすべての権利に伴う★

## ☆第1例会（「横浜YMCA-ワイズ合同新年会」に振り替え）報告☆

吉原 訓

日時：2016年1月16日(土) 18時30分～21時  
場所：ホテル・プラム（横浜市西区北幸2-9-1）  
参加者：(メ)長田・加藤・小俣・佐藤・土方・吉原・若木  
(メネット) 加藤 計8名

夕方から冷え込んできた屋外とは裏腹に会場は適度の暖かさに恵まれ、お互い先ず新年のご挨拶を交わすことから始まりました。今年のホストクラブは横浜つづきクラブ、東日本区から渡辺隆理事と仙洞田書記、さらに東京から2名のゲストが参加され、田口努総主事を始めYMCAから9名、沖縄を除く6クラブ53名の総勢66名が参集、新年会は進められました。

セレモニーでは、総主事、理事、それに今城部長の3人が、交々本年の新たな誓いを、そして会員増強を…とご挨拶を頂きました。

祝宴に入る前の少憩時間を利用して「記念の撮影などをされる方はどうぞ…」ということで、クラブごとに前に進み出では皆さんシャッターを切っておられました(写真)。

さて乾杯の後は、質の良い料理を頂きながら旧交を温め、楽しく時間が過ぎていきました。クラブ紹介、アピールタイムでは、とつかクラブからは3月の例会は例年どおり鎌倉クラブと合同で「わかめ例会」を鎌倉・由比ヶ浜の会場で開催する旨をアピールしました。➡

また、鎌倉クラブからも同趣旨のアピールがあり、ゲストやビジターで当日は賑わいを見せることであろうかと楽しい想像までするほどでした。また、横浜YMCA会員大会(2/11)、BAPY基金のためのチャリティーゴルフ大会(2/15)、第3回日本語スピーチコンテスト(2/24)などのアピールがそれぞれに担当者からあって、終わりは全員でYMCAの歌を斉唱して、21時すべてのプログラムを終了、今年1年の交わりと更なる活動を願い、新春気分で賑わう街なかへと熱気の残る会場を後にしました。



## ☆合同新年会に参加して☆

佐藤 康子

1月16日(土)、横浜駅西口にほど近いホテルで18時30分から開かれたYMCA-ワイズの合同新年会に参加しました。

第1部の開会礼拝の際の献金は、BAPY(子ども支援)に捧げられました。

第2部のワイズソング・ワイズの信条に続く

ご挨拶では、田口努総主事、渡辺隆東日本区理事、そして今城高之湘南・沖縄部部長のお三方から、それぞれ新年に相応しい内容のお話をいただきました。

あらかじめ指定されたテーブルについておりましたが、私のところは、厚木クラブの千葉裕子さんととつかの長田さんのほかは存じ上げない方ばかりでした。お隣の方にご挨拶申し上げたところ、10数年前亡夫とチャリティーランの折に面識のあった元YMCAの職員の方とのことでした。豊かなお食事が終わりアピールタイムになったとき、その方が前に出られて、「自分の隣におられる佐藤さんは、ご主人様がかつてのYMCA常議員で、MM21地区の責任者でおられたときに会場としてご提供いただき、お陰で今日まで定着して開催されている。」とお話され、かつて主人にそんなことがあったのかと初めて知った次第です。

年ごとに1年が早く感じられます。今年はどうなるのでしょうか。皆様の平安を祈ります。(註、元Y職員は古田ワイズ)

## ☆第2例会(新年の集い)報告☆

浦出 昭吉

日時：2016年1月19日(火)18～21時

場所：かしお

参加者：(メ)長田・加藤・小俣・佐藤・

土方・吉原・若木・浦出

(メネット)杉本・加藤・吉原 計11名

私には久しぶりのワイズの会合です。

初めにビジネス、席上配布されたプログラムに従い、吉原会長を中心に、加藤ワイズが進行役になり、①各種報告では、区事務所又は国際宛てに提出した書類、報告書の披露があり、事後承認の形で確認しました。次に、②協議では、初島研修の際にも採り上げられた「会員増強の件」が主要議題となり、各自全員で最低1人、又はそれ以上の候補者を来月の第2例会までに、持ち寄ることとなった。無い知恵ながら、皆で知恵を出し合おうということが確認された。また、③当面の日程としては、2月6日の第1例会では、会長自らが卓話する、3月の例会日は12日(土)とし(5日は区の行事と重複のため)、鎌倉クラブと合同の「わかめ例会」が確認された。④YMCAの長田担当主事からは、会員大会やチャリティーゴルフの案内と参加要請がありました。終わってお待ちかね懇親会は例により鍋料理にアルコールも添えられ、心ゆくまで舌鼓を打ち和気あいあいのうちに21時過ぎ、3本締めで幕となりました。



## ☆より明るく・楽しく・元気の良い部に☆

若木 一美

昭和40年6月、県内各地域の民謡愛好団体と指導者組織が一体化したこの年を神奈川県民謡連盟の創立としてから50年が経過しました。

本年3月4日にその記念式典を開催することになり、踊らない私がなぜか？企画委員長をやらせていただく？ことになりました。

加盟15市町の会員760名参加により、コロムビア専属民謡歌手による生唄で午後に踊る計画です。

会員さんは70代・80代ですが、音を聞いて背筋を伸ばして日本各地の民謡を踊り、終わったら肉料理や中華料理を召し上がりながらお話しを…、その話題も3分くらいで次から次へと変わります、元気の源はそこにあるようです…。

昨年の盆踊曲「日本花咲音頭」の歌詞に、「…、50・60は花ならつぼみ、70・80は花盛り…」と唄われています。

先日のY-Y's新年会を見ても70・80は花盛りのようです。この7月から部長職が始まりますが、花盛りの皆さまとともに、明るく・楽しく・元気の良い湘南・沖縄部にしたいと思います。よろしくお願いたします。

## ☆今年も沖縄に行ってきました☆ 加藤 利榮

87年以来毎年欠かさず続けてきた訪沖、数えて今年で30回目となり、我ながらよくもまあ続いているなあと半ば呆れています。

今回は「沖縄2クラブ公式訪問の成功は重要課題の一つ」と位置付けた今城部長の熱意にほだされる形で、クラブからは若木ワイズ共々の1月30日・31日の沖縄行でした。

初めに沖縄YMCA1階会議室でクラブ会長ら13名が出席して15時から始まった部役員会、若木ワイズの次の部長は金子ワイズ(横浜)が推挙・承諾され、また2回目部長公式訪問クラブにまず1番目にとつかの2月第1例会を提案して了承されました。

記念撮影を挟んで17時30分からの沖縄2クラブ合同例会と交流会、若木ワイズの乾杯の発声で始められ、久しぶりに会う仲間との交流に時の経つのも忘れるほどでした。

翌日は、今帰仁(なきじん)城址の緋寒桜など7か所ほどをYMCAのマイクロバスを久場職員の運転、屋良・大森・比嘉の3ワイズの案内で、存分に見学、昼食に立ち寄ったホテルのガラス越しには辺野古の基地建設現場も…。いつもながらの行き届いた配慮に感謝し、予定どおり那覇空港から帰浜しました。

## 【随想】

### ☆最近の私☆ 南部 直登

昨年は、音楽の分野で沢山の活動を行いました。印象に残ったことは色々ありますが、その中から3つほどここでご紹介させていただきます。



その一つは、あの巨人軍終身名誉監督をされておられる長嶋茂雄さんから応援メッセージを書いた色紙を頂いたこと

です。ご存じのように長嶋さんは脳梗塞を患い、右手とお話しがご不自由な身であるにもかかわらず、震える手で一生懸命に書いてくださったのです。私は色紙を見た瞬間、感極まり大粒の涙が溢れてきました。

つぎに二つ目は、2015年度の「公益社団法人日本作曲家協会音楽祭」においてオリジナルソングコンテストでグランプリを受賞することができたことです。この団体は、例年暮れに行われるレコード大賞を運営していることでも知られており役員には大物作曲家がズラリ名を連ねております。今回は167の作品の応募があり、その中から、10月5日、王子駅前の「北とぴあ・さくらホール」で開催された作曲家協会音楽祭の晴れの舞台上でグランプリ受賞者に選ばれ、トロフィーを理事長の弦哲也さんから直々に頂くことができました。このことは私にとり、今後の演奏活動に大きな力と自信を与えてくれました。

そしてもう一つ、昨年の9月7日に発売した私の新曲CD「盛春の歌～夢は果てしなく～」が縁でNHKを始め民放各局のラジオやテレビに出演して放送することができたことは大きな成果だと思っております。

今年に入り1月6日に菅官房長官の秘書の方が私の事務所を訪ねて来られ、菅さん直筆の応援サインを頂きました。私宛に大きな字で、「意志あれば道在り 頑張れ盛春の歌 応援します」と書いてありました。私の歌は、皆さんもご存じのように、現在政府が推奨している「一億総活躍社会」のテーマソングのような内容の作品ですから、きっと共感していただけたのだと思います。「応援歌作り」は今後も続けようと思っています。(がんばれ！…カゲの声)

さらに1月18日には「税理士桜友会神奈川県支部 新春研修会・賀詞交歓会」の席上で講演を1時間15分にわたって行い、その後のパーティで望まれて歌を披露しました。前半の講演については慣れないことではありましたが私のこれまでのバンド生活時代の苦労話や生保営業マンとして成功していくストーリーをありのままにお話ししたところ、大変に好評をいただき、今後の新しい道が開けたような気がしました。

今年も常に前向きに「夢」を追い続けていこうと思っております。

会員皆さんからのお励ましもよろしくお願いたします。

～歌うセールスマン 南部なおと より～

(南部さん興味益れる原稿をいただきありがとうございます。TK)



☆YMCA だより☆

長田 光玄

～2016年 新たな気持ちでスタート～

新しい年を迎え、1月4日から専門学校・児童クラブ・保育園・英語学校・スポーツクラブと湘南とつか YMCA が実施している事業がすべて始まりました。新たな気持ちでスタートしたと思います。私たちスタッフも短いお休みでリフレッシュし、多くの皆さんを笑顔で迎え入れました。



ウエルネススポーツクラブでは、昨年末の冬季講習に参加した子どもたちを対象に ペットボトルで「いかだ」作りのイベントを実施しました。普段は水泳の練習で使っているプールに グループに分かれてそれぞれがペットボトルを並べて作った「いかだ」を浮かべて楽しみました。新年 最初のプールに子どもたちの笑顔と歓声が弾けていました。



☆今月の歳時記から☆

‘下萌したもえ’と‘山焼き やまやき’

‘下萌’、春先になると、一雨ごとに土中から青い草の芽が萌え出してくる。実際に土を割って小さく芽を出してきたところでもいいが、草の芽の萌え出してくる季節の感じにも用いる。野原や道の傍のそこここから、新芽を出している草は、みずみずしい春の息吹を感じさせる。

下萌や薪をくづす窓明かり 犀 星  
下萌にうれしきときもうづくまる 秋 子  
外套をかゝへたゝずむ下萌えに 冬一郎  
下萌もいまだ那須野の寒さかな 惟 然

次に‘山焼き’、春早く、山の枯木枯草を焼き払うことで、害虫駆除と施肥を兼ねている。以前は、だれもいない山の中腹に、山焼きの白い煙が流れている光景をよく見かけたものでした。「山火」は山焼きの火、大がかりな山焼きのときはすさまじい夜景を呈する。1月15日に行われる奈良若草山の山焼きは、美しくも壮観なことで有名ですね。

湖に裾沈ませて山火燃ゆ 月 穂  
遠山火見えてさびしき風呂落す 玉蹊子  
不死鳥を立たせてをりぬお山焼き 哲 也  
ぬばたまの夜を煽れりお山焼き かず子

(午)

☆2・3月の行事予定 ☆

- > 2/6(土) 第1例会：部長公式訪問・とつかY・18:30～
- > 2/11(木) YMCA 会員大会：湘南とつかYMCA・10:00～
- > 2/15(月) BAPY・チャリティーゴルフ大会・戸塚カントリー
- > 2/16(火) 第2例会：湘南とつかYMCA 204号室18:30～
- > 3/1(火) 第72回Y-Y'S協議会：関内中央Y・19:00～
- > 3/6(日) チャリティーコンサート&街頭募金・湘南とつかY
- > 3/12(土) 第1例会：わかめ例会・鎌倉‘つぼみの家’
- > 3/15(火) 第2例会：湘南とつかYMCA 204号室18:30～

～2月の会合のご案内～

第1例会：2月6日(土) 18:30～20:30

(部長公式訪問) 会長卓話“射撃と健康”

第2例会：2月16日(火) 18:30～

ご出席、よろしくお願ひします。

～Happy Birthday～

川津 幸子さん(2月7日)

加藤 利榮さん(2月17日)

吉原 和子さん(2月24日)

杉本 允子さん(2月24日)

大高 聡さん(2月27日)

【掲示板】

会 長

◎ 2月第1例会に部長が公式訪問に

△ 2月6日の第1例会に今城部長が公式訪問されることが急ぎよ決まりました。

△ 昨年7月の第1回の公式訪問の際も、とつかクラブが皮きりでしたが、今回も 部内のトップを切ってのご訪問となります。

◎ 会員大会について

△ 機会あるごとに予告しておりますように、2月11日はYMCAの会員同士が交流する会員大会の日です。

△ クラブの皆さんも、是非ご都合付けられ湘南とつかYMCAまでお出掛けください。10時に始まります。

△ メンバー候補者にあの方を… といったことも、あながち夢ではなさそうです。その辺は ご自身のご判断にお任せします…。思わぬサプライズが…!

△ プログラムの中では、パレスチナやエジプトで、また東日本大震災のときには宮古などで写真家としてご活躍の高橋美香さんの基調講演もあります。

△ 当日は入場無料・予約不要・出入り自由です。



年賀ハガキ当選番号

69・90

(後記)

世の中、いつになったらニュースのタネが尽きるのでしょうか…。

(TK)